

令和6年度 幌加内町教育行政執行方針

幌加内町教育長 村上 雅之



はじめに

少子高齢化の進行やグローバル化の進展、人工知能の普及など、人々の価値観やワークスタイルが大きく変化し、複雑で予想困難な時代を迎えている現在、本町がより魅力あふれる地域として発展していくためには、「人づくり・地域づくり」の基盤となる教育の役割が益々重要となってきました。

このような認識の中、教育委員会としましては、幌加内町教育大綱に示された、「確かな学びと夢や希望を育み地域の特色を生かした活力あふれる学校教育の推進」、「いきいきと楽しく学べる生涯学習の推進とやさしさあふれる交流から生まれる心豊かな人づくり」を教育・文化・スポーツ分野における基本方針とし、具体的な取組を展開して

おります。

令和6年度の教育行政執行方針の策定にあたりましては、第7次幌加内町総合振興計画及び幌加内町教育大綱に基づき本町の実情に応じた教育振興を図るべく、関係機関との連携を深めながら所管する施策を推進してまいります。

学校教育

基本方針

令和3年度に策定した「学校教育推進計画」に基づき、めざす子どもの姿を「ふるさとに誇りと愛着をもち、人々と支え合

い、たくましく生きる、幌加内の子」とし、「確かな学力の育成」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」を推進の重点としており、各学校において具現

化が図られるよう、きめ細やかな施策の展開を推進するとともに、地域との積極的な連携を図り、信頼性を高め、開かれた学校づくりの推進に努めてまいります。

す。

町内各学校の状況

本年度の小学校は、幌加内小学校で、普通学級4学級と特別支援学級4学級あわせて8学級、朱鞠内小学校で、普通学級1学級と特別支援学級1学級あわせて2学級となり、小学校全体では、10学級となり、児童数は42名の予定となります。

中学校は、普通学級3学級と特別支援学級2学級あわせて5学級で、生徒数は24名の予定であります。高等学校では、17名の入学志願者があり、在籍生徒数は、44名となる予定であります。

小・中学校義務教育

国が進めるGIGAスクール構想の実現に向け、令和3年度から児童生徒1人1台タブレット端末の導入や校内ネットワークの無線化などの整備を行い、ICTを基盤とした「個別最適な学び」と「協働的な学び」への効果的な活用がスタートして3年が経過いたします。

現状での課題を整理し、今後のICT教育の動向を踏まえた機器更新への対応や効率的な運用体制への見直しなどの検討を行ってまいります。

また、中学校の部活動については、令和2年に文部科学省から示された「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」にもとづき、休日の部活動の段階的な



地域移行を進めていくこととなりますが、部によっては、地域に受け皿となる団体が無いなど課題も多いことから、学校と充
分な連携を図りつつ協議を進め
てまいります。

高等学校

全国でも唯一、学校設定科目
の「そば」授業の取り組みや、
ICT教育の実践、生産から加
工製造、販売まで一貫した六次
産業化学習を推進し、生徒自ら
主体的に経営する幌高商店会の
運営や、旭川市内や近隣の商業
施設などでの販売会を通した生
徒の更なる活躍に繋げてまい
ります。



また、幌加内高校2年生を対
象とした見学旅行先について、
従来までは沖縄県として実施し
ておりましたが、令和6年度よ
り士別地域日台親善協会との繋
がりから、士別地域と台湾の交
流を促進し、かつ幌加内高校生
と台湾の高校生との交流学習を
通した友好親善を図ることを目
的に、台湾を見学旅行先とする
ことで決定したところでありま
す。

ついでには、見学旅行の際に必
要となる旅券（パスポート）の
申請に係る経費のうち手数料に
ついて、保護者の負担軽減を図
るため半額を助成することとい
う申し立てがありましたので、必要予算を
計上させていただきます。



す。

一方、全国高校生そば打ち選
手権での実績や高校魅力化支援
事業の取り組みにより、道内外
において幌加内高校の知名度が
上がっていると実感している
ところでありますが、全国的な少
子化傾向は一段と強まってお
り、生徒募集については、年々、
大変厳しい状況下にあります。

そこで、検討しております
生徒の全国募集に着手すること
とし、全国的な募集イベントな
どを企画・実施している「地域
みらい留学」事業に参画し生徒
確保を図るとして、必要な予算
を計上させていただきます。

また、札幌近郊や旭川市並び



に近隣市町村などを中心に中学
校訪問を実施する事に併せて、
一日体験入学や、個別での対応
を含めた学校見学会を実施する
など、生徒募集の強化に努める
所存でありますのでご理解承り
たいと思います。

加えて、初めて親元を離れ、
寮生活を行う生徒が大半である
ことから、生徒が抱える様々な
問題に対応するため、社会福祉
の専門家や、臨床心理士による
心のケアと合わせ、総合的な対
策を図っているところでもあり
ます。

教育委員会といたしまして
も、各関係機関・地域とも連携
を図り、小規模校ならではのき
め細やかな指導や時代のニーズ



に合った教育を実践し、グロー
バル社会に適應できる人間形成
の拠点となるべく、教育環境の
充実や深雪寮の環境整備を計画
的に取り組んでまいります。

学校給食事業

学校給食は、成長期にある児
童生徒の健康の増進を図ること
に加え、食に関する指導を効果
的に進めるための重要な教材と
して、計画的・継続的な指導を
行うことにより、望ましい食習
慣と食に関する実践力を身に付
けさせることができます。

給食センターにおいては、栄
養教諭を配置して食育教育の充
実を図っており、近年の食材な
どの価格高騰の影響があります
が、引き続き、全量地元産米を
使用するなど、食材調達に工夫
をし、給食費の保護者負担が増
加しないように努めてまいりま
す。

また、今後においても食中毒
や異物混入を未然に防止するた
め、衛生管理の徹底を図り、食
物アレルギーを有する児童生徒
には代替食の提供を行い、安全
で安心な学校給食の提供に努め
てまいります。

社会教育



社会教育は、生涯学習社会の中核として、地域全体に関わる様々な課題を解決するため「社会教育中期計画」のもと事業展開を図ってまいります。

町民の方々が学んだことを日常生活に活かせる学習の推進、地域資源を活かした教室の開催、生活文化の向上を目指した講座の開設など、社会教育関係団体との連携を深め、町民の皆さんとの協働の中で、生涯教育に取り組んでまいります。

本年4月より中央公民館機能を生涯教育活動の拠点であります生涯学習センターへ移行する予定であります。

生涯学習センターでは魅力あ



る事業の推進に努めるとともに、町民の皆さんが自主的に行う文化・芸術活動への支援や各地区公民館を中心としたそば打ち教室やステンドグラス講座など特色ある活動にも支援をしてまいります。

また、老朽化に伴う「ふれあいホール」の吊物装置改修工事をはじめとした施設整備について計画的に取り組んでまいります。

図書室においては、新刊案内をはじめ、お薦めコーナーの設置、新生児に絵本を贈るブックスタート事業、巡回図書、おしごと体験など、身近に本と触れあえる機会を増やすことに向けて引き続き取り組んでまいります。

保健体育



スポーツ活動の推進についてですが、多くの町民が様々なスポーツ活動に親しみ参加できるよう、水泳教室やテニス教室に加えボッチャ教室やスナックゴルフ教室、モルック教室など新たなスポーツを知る機会を提供し、心身ともに健康な生活を営むことができるよう推進してまいります。

本町の多雪を生かした町技であるスキートの楽しさを町民に知っていただくことを目的に、スキー連盟指導員会の協力により、幼児・児童・一般向けのスキー教室の開催及び児童・生徒を対象に実施しております土曜日・日曜日・祝日のリフト券の

助成やシーズン券の助成は、令和6年度においても引き続き実施してまいります。

今後ともスキー連盟をはじめ、関係機関と連携を図り、スキーの普及、振興に努めてまいります。

体育施設については、本年6月に「ほろたちスキー場」の指定管理期間が終了することに伴い、これまでの指定管理者から継続辞退の申し入れがあったため、条例の定めにより公募を行い、本議会において新たな指定管理者の指定に関する議案を提出させていただいておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

また、リフトや圧雪車の整備等についても安全な運行を行う



ため、引き続き計画的に整備してまいります。

今後も社会教育施設の整備や維持、関係団体の活動支援について、より一層の連携を図りながら事業推進に取り組んでまいりますと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

育英事業

本町の奨学資金事業は、経済状況によって就学の機会が奪われないようにするため、本町に住所を有する学生などの育英を目的として、令和6年度もこれまでと同様、新規貸付者を大学、各種学校、高等学校についてそれぞれ予定しております。

おすびに

以上、令和6年度の教育行政の執行について申し上げますが、町民の皆さまの学習環境の整備や学習機会の確保・提供に向けて、鋭意取り組んでまいりますので、町議会並びに町民の皆様のお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。教育行政執行方針いたします。